



レクチャーの様子

(特非) 地域再生機構

岐阜県内における実践を 踏まえた自然エネルギー学校 (小水力発電) の開催

一般助成

2年目

実践

小水力発電に取り組む
担い手の育成

69人

自然エネルギー学校の
講座開催回数

16回

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

岐阜県内における地域に根ざした小水力発電の主体者・担い手の不足と、それによる自然エネルギー・小水力発電普及の停滞。

活動内容

岐阜県の中山間地をフィールドとして、再生可能エネルギーの一つである小水力発電の基礎、導入手法を学ぶ基礎編講座、実践編講座を開催する。基礎編講座では、小水力発電の意義や役割、可能性調査手法などを知ることで、地域に眠る水資源の活用の可能性について学ぶ。実践編講座では、自分たちで設計・製作・設備設置をした小水力発電設備導入を実践し、より実践的な小水力発電の担い手を育てる。



実際に小水力発電の
可能性を探る

今後の課題

- 自然エネルギー学校を活かした地域主体の小水力発電普及モデル「郡上市モデル」の仮説検証と、全国展開に向けた方法の模索。
- 地域住民主体となった事業性のある小水力発電普及に向けた取り組みへの伴走支援。

成果と工夫した ポイント



成果

岐阜県内の2地域において、小水力発電への取り組みが開始された。また、活動フィールドにおいて、講座受講生が出力200W程度の小水力発電設備を設置した。

工夫

- ・実際に小水力発電の導入経験のある実践的な担い手育成。
- ・地域住民、行政と協力した活動の運営。